



第1回テーマ 産業・物流 「つながる山梨 海と空に開かれた「開の国」へ」

中部横断自動車道(山梨～静岡間)の開通により、静岡県の清水港や富士山静岡空港と高速道路で直結し、本県はまさに海と空に開かれた「開の国」となりました。首都圏に近く、さらに太平洋臨海地域の拠点との結びつきも強化された山梨県は、産業・物流分野において非常に好立地となっています。そんな産業・物流分野に携わる県内企業の皆様と、開通効果や更なる期待・展望について意見交換を行います。

開催日時・場所

令和4年3月14日(月)
14:00～15:30
(来場者受付 13:15～)

山梨県立図書館 イベントスペース

参加
無料

- ▶ 来場参加 定員:50名
 - ▶ Web視聴 定員:300名
- 事前にお申込が必要です。

※詳細は裏面をご覧ください

プログラム

情報提供

「中部横断自動車道の開通効果等」(山梨県 県土整備部)

ディスカッション

- パネリスト (順不同)
 - 小原 春人 氏 (富岳通運(株) 総務・運輸安全マネジメント事務局 課長)
 - 新藤 和仁 氏 ((株)オギノ 物流部 総括マネージャー)
 - 竹村 基史 氏 (鈴与カーゴネット(株) 甲府支店 甲府営業所 支店長)
 - 原 晃彦 氏 ((株)シャトレーゼ 物流部 部長)
- 全体コーディネーター
 - 佐藤 文昭 氏 ~プロフィール~
山梨総合研究所 調査研究部長、山梨県立大学特任教授
情報番組「ニュース「スゴろく」」水曜コメンテーター

中部横断自動車道開通記念 リレーシンポジウム

第1回テーマ 産業・物流

主催 山梨県

つながる山梨 海と空に開かれた「開の国」へ

○小原 春人 氏

(富岳通運(株) 総務・運輸安全マネジメント事務局 課長)

⇒ 立地特性に着目し物流拠点を建設

・清水港を活用した商品調達の拡大に期待



○竹村 基史 氏

(鈴与カーゴネット(株) 甲府支店 甲府営業所 支店長)

⇒ 運送時間の短縮と定時制の確保がメリット

・清水港へのアクセス向上による船舶の活用



○新藤 和仁 氏

((株)オギノ 物流部 総括マネージャー)

⇒ 静岡県の商品の販売機会を増やし、

両県の交流を拡大したい



○原 晃彦 氏

((株)シャトレーゼ 物流部 部長)

⇒ デリケートな生菓子を配送するのに優しい道

・清水港を經由して国内だけでなく海外に向けても配送



★まとめ

- 広域的拠点として山梨県のポテンシャルの高まりを実感
- ポテンシャルを最大限に発揮するためには、中部横断自動車道の4車線化と長坂以北区間の整備、中央自動車道の渋滞解消、甲府中央スマートICの整備、富士山空港や清水港との連携といった事項が必要

中部横断自動車道の役割<第2回リレーシンポジウム(観光)の概要>



開催日時・場所

令和4年6月6日(月)
14:00 ~ 15:30
(来場者受付 13:15 ~)
山梨県立図書館 イベントスペース

参加
無料

- ▶ 来場参加 先着:50名
- ▶ Web視聴 先着:300名

事前にお申込が必要です。

※詳細は裏面をご覧ください

プログラム

情報提供

県土整備部、観光文化部

ディスカッション

- パネリスト (五十音順)
居村 一彦氏 (道の駅富士川 支配人)
武川 尚志氏 (清泉寮 営業企画本部長)
半田 初幸氏 (山梨県旅行業協会 総括理事)
矢崎 道紀氏 (下部ホテル 代表取締役社長)

- 全体コーディネーター
佐藤 文昭氏 ~プロフィール~
山梨総合研究所 調査研究部長、山梨県立大学特任教授
情報通信・ニュース(スゴろく)水曜コメンテーター

中部横断自動車道開通記念 リレーシンポジウム 第2回テーマ 観光 中部横断自動車道でつなぐ地域観光の未来

○半田 初幸氏

(山梨県旅行業協会 総括理事)

- ⇒ 山梨県内への修学旅行の受入が大きく増加
・県外旅行がしやすくなった・観光の動きが活発化



○矢崎 道紀氏

(下部ホテル 代表取締役社長)

- ⇒ アクセス性の向上により周辺地域と組み合わせた
周遊観光が容易に・地域全体の魅力発信に取り組む



○武川 尚志氏

(清泉寮 営業企画本部長)

- ⇒ 一般道の通行止めによるリスクが軽減した
・静岡、愛知、神奈川からの来訪、修学旅行客増加



○居村 一彦氏

(道の駅富士川 支配人)

- ⇒ 開通後に過去最高の売り上げを達成
・道の駅を拠点とした地域の魅力発信に取り組む



★まとめ

- 整備された中部横断自動車道をうまく活用するために、地域の魅力を発掘し、その魅力を高めて、それら魅力をうまく情報発信することが観光促進に必要



中部横断自動車道(山梨～静岡間)の開通により、災害時の救助・支援活動の迅速化や、高規格幹線道路ネットワークの強化による広域迂回路の機能発揮など、本県の強靱化が進捗しました。また、高速道路を利用した救急医療活動が可能となり、救命率の向上にも貢献することが期待されます。

今回は、防災・医療の視点から、開通効果や課題、今後の展望について意見交換を行います。

開催日時・場所

令和 4 年 9 月 13 日 (火)
14:00 ~ 15:30
(来場者受付 13:15 ~)

山梨県立図書館 イベントスペース

参加
無料

- ▶ 来場参加 先着:50名
 - ▶ Web視聴 先着:300名
- 事前にお申込が必要です。
※詳細は裏面をご覧ください

プログラム

情報提供

「防災・医療面における中部横断自動車道の開通効果等」
(山梨県 県土整備部)

ディスカッション

- パネリスト (五十音順)
田中 満 氏 (国土交通省 関東地方整備局 道路部 交通拠点調整官)
秦 康範 氏 (山梨大学地域防災・マネジメント研究センター准教授)
山下 博史 氏 (NPO法人 災害・ボランティア未来会 代表)
吉田 英明 氏 (中日本高速道路株式会社 八王子支社 甲府保全・サービスセンター 所長)
- 全体コーディネーター
佐藤 文昭 氏 (プロフィール
山梨総合研究所 調査研究部長、山梨県立大学特任教授
情報番組+ニュース「スゴろく」水曜コメンテーター)

中部横断自動車道開通記念

リレーシンポジウム

第3回テーマ 防災・医療分野

主催 山梨県

強靱な県土へ～中部横断自動車道の役割～

○田中 満 氏

(国土交通省 関東地方整備局 道路部 交通拠点調整官)

⇒ ミッシングリンクの解消で災害に強い
道路ネットワークが形成



○秦 康範 氏

(山梨大学地域防災・マネジメント研究センター 准教授)

⇒ 土砂災害のリスクが大きい峡南地域にとって、
高速道路の担う役割は非常に大きい



○吉田 英明 氏

(中日本高速道路(株)八王子支社 甲府保全・SC所長)

⇒ 峡南地域から3次医療施設への搬送時間の
短縮に伴う救命率の向上は大きな効果の発現



○山下 博史 氏

(NPO法人 災害・ボランティア未来会 代表)

⇒ 移動時間短縮が災害時の救命率に大きく影響
・災害時の初動活動を行う上で、高速道路は不可欠



★まとめ

- 関係機関と平時から連携をとり、既存インフラを有効活用
- 道の駅や民間施設と連携して、支援の拠点を増やしていく
ような展開も必要